

## 市立中学校における通知表の誤記載について

鶴ヶ峰中学校において、令和元年12月25日に配付した2学期の通知表の観点別評価及び評定に誤記載があることが判明しました。学校は、生徒及び保護者に謝罪と説明を行うとともに、正しい通知表を配付しました。今後、本件について、全保護者に文書を配付します。

## 1 誤記載の内容

第2学年1クラス(39名)のうち、14名分の観点別評価及びそのうち5名の評定(数学)

【観点別評価】：各教科について「関心・意欲・態度」などの観点(教科により4～5観点)ごとに、A・B・C等の3～5段階で評価するもの。  
【評定】：各教科の「観点別評価」を総括的に評価したもの(中学校は1～5の5段階)。

## 2 学校名

学校名 横浜市立鶴ヶ峰中学校 校長 木村 達洋(きむら たつひろ)  
生徒数：574名 教職員数：43名  
所在地 横浜市旭区鶴ヶ峰本町三丁目28番1号

## 3 経過

令和元年

12月25日(水) 2学期の通知表を配付した。

令和2年

1月8日(水) 生徒1名から自身の評価・評定について、数学科担当教諭が質問を受けた。確認したところ、当該生徒を含め、第2学年19名分の評価資料に一部未入力項目があったため、評価・評定にも誤りがないか確認を開始した。

1月9日(木) 学校は14名の観点別評価及びそのうち5名の評定に誤記載があることを確認した。  
全ての学年において全教科の点検作業を開始した。

1月10日(金) 全ての学年における点検作業が終了し、他に誤記載がないことを確認した。  
14名の生徒・保護者に謝罪・説明及び通知表の再配付を開始した。

1月14日(火) 14名の生徒・保護者への謝罪・説明及び通知表の再配付を終えた。

## 4 誤記載が発生した主な原因

当該クラスの一部を担当する教諭が、「関心・意欲・態度」の観点の評価資料として扱うべき問題集について、当該クラスのみ評価の入力作業を後回しにしてしまったため、入力を失念しました。また、評価資料の入力状況についてダブルチェックを行わなかったため、問題集の評価について未入力であったことを発見することができませんでした。

## 5 再発防止に向けた取組

- 点検方法を見直し、同様の事案の再発防止に努めます。
- 通知表誤記載の具体的な事例に基づいた不祥事防止研修を、年間を通じて実施します。

お問合せ先

教育委員会事務局西部学校教育事務所 指導主事室長 梅澤 薫 Tel 045-336-3719